

八幡神社

武家の守護神であり、第15代天皇でもある、誉田別尊を祀るこの神社は、一部の住民の間では岩川八幡と呼ばれています。その名称から、この神社がもともと岩川家の祖先を祀る場所だったことが偲ばれます。岩川家は、かつて屋久島を統治していた種子島一族に仕えていました。岩川家の子孫は、何世紀も昔、平内集落のまとめ役を務めており、この神社は岩川家の墓地だったのではないかと思われます。神社のしめ縄（神聖な場所の結界として張られる藁の縄）は、1年に2回、2月と8月中旬に、近隣の農家から集められた稲わらで新調されます。8月のお盆の時期に足を運ぶと、棒を手にしてリズムカルに躍る棒踊りを見ることができます。